

第59回記者懇談会のご案内

5月24日（日）～5月29日（金）に開催されます日本地球惑星科学連合2026年大会におきまして、下記の日程で記者懇談会を開催いたします。

取材活動で大変お忙しいところ恐縮ですが、ご出席いただければ幸いです。なお、今回は現地対面開催のみとし、オンライン中継は行いません。また、過去に行っていました懇談会終了後の懇親会は今回も実施しません。皆様のご理解をお願い申し上げます。

本懇談会に参加されます報道関係者の方は、当日会場にお越しく下さい。なお、報道関係者・記者の方は、学会会場への入場には、事前登録が必要なことにご注意ください（下記参照）。

記

第59回 日本地震学会 記者懇談会

日時：2026年5月24日（日）17:45～18:45

開催方法：学会会場における対面開催（オンライン中継はありません）

開催場所：幕張メッセ国際会議場 1階 101室（千葉市美浜区中瀬2-1）

なお、学会会場への入場には、報道関係者・記者の方は、事前登録（以下のURLを参照）が必要となります。

<https://sites.google.com/jpgu.org/jpgu-press-team>

出席者：久家慶子（会長）、中東和夫（広報委員長）、
地震学会役員、広報委員、地震学会会員

1) 地震学会の活動、2026年度の事業計画の紹介（久家会長）

2) 話題提供

久田 嘉章 さん（工学院大学建築学部まちづくり学科 教授）

講演題目

「地表地震断層近傍の強震動・断層ずれと建物の対策 -活断層を知り、正しく恐れる-」

講演内容

2016年熊本地震（Mj7.3）では布田川・日奈久断層に加えて南阿蘇地域の断層帯に沿って長さ約34 km、最大で約2 mの断層ずれを伴う地表地震断層が出現しました。断層近傍の益城町や西原村では指向性パルス（キラパルス）や、断層ずれの永久変位を含むフリングステップ（長周期パルス）を含む特徴的で大変貴重な強震記録が得られました。一方、断層周辺の建物は激しい揺れに加えて、断層ずれにより多くの被害が生じましたが、耐震化など様々な対策の有効性も明らかになりました。本講演では近年の国内外の地表地震断層近くの強震動や断層ずれ、それによる建物被害の特徴を説明し、様々な被害低減策を紹介します。

3) 質疑応答

連絡先・問い合わせ先（社）日本地震学会事務局

TEL: 048-782-9243、 e-mail: zisin@tokyo.email.ne.jp